

第8回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日 時 令和4年10月13日（木）午前9時30分～午前11時
- 2 場 所 入間市市役所 4階大会議室
- 3 出席者 委員長 濱川敦
委 員 岩田正博、浅見泰志、関谷佳代子、齋藤忠士、高梨雅樹、小林由利、
平田和雄、関田恵一、中林敦子
所管課 地域振興課長 宇津木教芳、副主幹 金子篤、主任 田代高久
青少年課長 中林健、主幹 椿潤
博物館長 澤田和也、主幹 津久井浩一
事務局 企画部次長 栗原康友、デジタル行政推進課長 糟谷寿孝、
主幹 齊藤謙治、
- 4 欠席者 なし
- 5 対象施設 入間市文化創造アトリエ、入間市博物館、入間市児童センター
- 6 議 事
 - (1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について
 - (2) 今後のスケジュールについて

(1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について

事務局より、最終的な候補の決定方法について、再度確認するため、次の説明をした。

申請を受けた施設所管課において、提案者が申請制限に該当するか否かを確認する「資格審査」については、前回の委員会で報告しているが、全ての応募団体について、申請制限に該当していない。

「提案審査」は、応募者によるプレゼンテーションを踏まえ、各委員に採点をしていただいた。各審査項目の採点結果のうち、より公平に評価するため、審査項目ごとに最高点と最低点を除いて算出した平均点（小数点以下第2位まで）をその審査項目の選定委員会としての評価点とし、総合評価点が最も高い提案者を指定管理者候補として選定する。総合評価点は募集要項で示した最低基準点である210点を上回っていることも条件となる。

次に、本日の会議における各施設の指定管理者候補決定までの具体的な進め方について次のとおり説明し、委員の了承を得た。

候補の決定にあたっては、最初に「入間市文化創造アトリエ」、次に「入間市博物館」、最後に「入間市児童センター」の順に進め、施設ごとに候補者を決定させてから次の施設に移るという方法を進める。

候補の決定にあたり、最初に応募者それぞれの総合評価点を発表する。

次に、総合評価点が最も高かった法人が指定管理者候補となるが、審査の中で、他の法人と比較しどの審査項目が高い評価を得ているかを説明する。

その後、各委員には、これらを踏まえ、審査で評価したポイントや意見、感想などを述べていただく。

いただいた意見等については、事務局で取りまとめ、最終的な委員会としての選定理由としたい考えである。

また、本日は、3つの施設の指定管理者候補の選定について諮るが、自らが関わっていない施設に関する評決には加わることはできない。また、その施設に関して意見を出された場合には参考意見とさせていただきます。

委員長：事務局から進め方について説明があったが、意見や質問はあるか。

委員：なし

委員長：では事務局の説明のとおり審議を進めさせていただきます。はじめに「入間市文化創造アトリエ」の集計結果を事務局から報告願いたい。

事務局：応募者である「特定非営利活動法人 入間市文化創造ネットワーク（以下、「入間市文化創造ネットワーク」）」の総合評価点は254.60点である。「入間市文化創造アトリエ」の応募者は1社のみであり、最低基準点の210点を上回っているため「入間市文化創造ネットワーク」が候補者となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、「入間市文化創造ネットワーク」については最低基準点を上回っているとのことである。次に「入間市文化創造ネットワーク」が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明をお願いします。

事務局：「基本方針、基本コンセプトの理解」、「利用者サービスの向上」、「自主事業の内容及び地域との連携・協働」、「事業実績」、「広報・誘客事業の内容とその取組み」、「自由提案」が、高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から「入間市文化創造ネットワーク」の高評価を得た審査項目について説明があった。これらを踏まえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：「人づくり」、「魅力づくり」、「芽づくり」、「まちづくり」の四つの事業を設立当初から掲げて、事業に反映させている。人材の育成や入間市の魅力を発掘し、まちづくりにつなげる取り組みがぶれずに行われていることを評価し今後も期待する。次に、業務の実施内容と方法として、職員の育成面において、積極的に外部の研修に参加していることや、外部の講師の方を招いて、運営研修を実施している点を評価した。インプットすることがあって、アウトプットができると思っているので、いろいろな新しい知識とか手法を学んで活かしている点を評価した。これが市民ディレクターの層の厚さや、事業の質の向上に繋がっていると思っている。また、外部評価でもよい評価をいただいているが、市民ディレクターがも

つ専門知識を活かして、自主事業をやっている点、特に、学校や公民館などの公共施設でアウトリーチ事業をしている点について、アミーゴにとどまらず、地域とそれから事業者もまきこんでいる点は価値ある提案であったと思っている。また、施設の利用増や集客に繋がる事業をたくさんやっている点、それから地域の課題の解決に繋がることを実践している点、高齢者や子供の居場所づくり等を、市民に近い位置で実施している点を評価した。ただし、収支計画について、指定管理となる前の委託時代からの市の予算にとらわれている点は残念であった。特に市民ディレクターの謝礼の件等はもう少し自主的に考えてもいいのではと思いい評価に反映させた。

委員：私が評価した点は熱い思いと実績である。ただ指定管理という制度を考えた時に、民間導入による経営やコスト的な部分に視点を置くと、その経営面やコスト的な意識は若干低かったのかなと考える。

委員：よかった点としては、基本方針、基本コンセプトをしっかり把握されていて、それを活かしているということである。むしろ、指定管理者の方で方向性を出してくれているという感覚も持った。またそれに加えて、長期間取り組まれているということで、事業実績についても充分であり、それを次期の自由提案等に活かされていると感じた。収支計画については、若干甘いところがあると感じた。

また、評価ではなく感想になるが、長期間文化創造アトリエを管理運営していただいているということで、将来のことをそろそろ考えていかななくてはならないとの危惧を持った。

委員：地域住民、ボランティアなどとの連携が、しっかりととれていると評価した。また、誘客方法としてSNSを活用し、積極的に誘客に向けての取り組みをしっかりとされている点に期待する。また運営実績と施設の有効活用で、長年この施設の指定管理をしていることから、良い面も悪い面も含めて、この施設の特徴を活かした施設の有効活用がされているところを評価した。ただ、市民ディレクターはこの施設においては重要かと思うので、謝礼については手厚くしていただけると、よりいい発想が出てくるのではと思った。

委員：私は、自主事業の内容が非常にバラエティに富んでいた点、地域との連携が非常に密であるという点を評価した。気になった点としては、第三者評価の中でも指摘があったが、限られた職員数で運営しているので、全体的に余裕がないのではと感じた。ちゃんと休暇はとれるのか、時間外勤務はあまりないのかといったところである。また一部労働条件でも、年次有給休暇の消化日数であるとか、健康診断の考え方は今後改善いただければと思う。研修について人権研修の予定がないとのことだが、大事な内容であるため、是非受けていただければと思う。

委員：図書館や博物館、児童センターなどほどの自治体にもある施設であり、指定管理制度は適していると思うが、文化創造アトリエは、それらの施設と違い独特の性格を持つ施設だと思う。これまで、文化創造アトリエの指定管理をしている「入間市文化創造ネットワーク」の館長により、運営が支えられてきた。今回のプレゼンテーションは情熱が感じられてすばらしかったと思う。今後、文化創造アトリエを入間市としてどう考えていくのかとの意見があったが、現館長のような情熱のある方を育てていくか、どう人材を確保するのかということだと思う。指定管理は市民と行政の連携の一つであり、経費削減だけが目的ではない。経費削減も一つの重要部分ではあるが、それだけではいけないかなと思う。それぞれの施設の持つ特性、歴史、意味をよく理解し運営にあたるのが重要だと考える。

委員長：先ほど事務局より説明のあった評価が高かった項目については、私自身も高く評価をした。文化創造アトリエは、他の市にはない独特な施設というところもあり、指定管理者にはコンセプトを理解し、制約ある中で、多彩な事業展開をしていただいていると感じた。特に市民ディレクターやアドバイザーなど、様々なネットワークを活かして、地元密着型の施設としてふさわしい文化芸術の拠点として運営をされていると理解をさせていただいた。自由提案について、現状にとどまらないという姿勢については、大いに評価できると判断した。

総括すると基本的には、館長をはじめとして組織全体で熱意をもって運営されてきたこと、そして実際にその実績として様々な事業を展開し、特に地域と連携しながら事業展開されてきたことを今後も期待できると、皆さん評価をされた。反面、収支の部分や人的管理については若干気になる部分もあるというご指摘があった。また、これは今回の選定そのものとは若干視点がずれるのかもしれないが、中長期的な運営を見た時に、その将来のあり方も別途考えていかなければいけないというご指摘であった。各委員の配点を見ると、全員、最低基準点は上回っており、皆様方の判断としては、次の指定管理者として適当であると判断できるが、「入間市文化創造ネットワーク」を「入間市文化創造アトリエ」の指定管理者候補として決定するというところでよろしいか。

全委員：異議なし。

委員長：「入間市文化創造アトリエ」の指定管理者候補を「入間市文化創造ネットワーク」に決定する。なお、「入間市文化創造ネットワーク」が辞退した場合は再度公募を行うことがあることを申し添える。以上で、「入間市文化創造アトリエ」の選定については終結とする。

次に、「入間市博物館」の集計結果を事務局から報告いただきたい。

事務局：応募者である「いるまミュージアムパートナーズ」の総合評価点は236.00点である。「入間市博物館」の応募者は1社のみであり、最低基準点の210点

を上回っているため「いるまミュージアムパートナーズ」が候補者となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、「いるまミュージアムパートナーズ」については最低基準点を上回っているとのことである。「いるまミュージアムパートナーズ」が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明をお願いします。

事務局：「基本方針、基本コンセプトの理解」、「利用者の平等利用の確保」、「管理に関する経費の削減に向けた考え方」、「申請団体の経営状況」、「事業実績」、「施設の管理基準及び管理体制」について高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から高評価を得た審査項目について説明があった。これらをふまえて審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：今回応募者が1団体のみだったということで、比較対象の他団体の応募がなく、競争原理が働かなかったことについては残念だと思う。

「管理に関する経費の削減に向けた考え方」について、経費削減ということで外注せずにグループ内部で対応して経費の削減を止めるところを評価した。「施設の管理基準及び管理体制」について、自主的に実績を積んでいるところが評価でき、今後5年間についても期待をしたい。全館LED化をしていくという自由提案は、省エネ化やエコの観点からもSDGs未来都市に選定された入間市としても、その趣旨にあたるのではと評価する。5年前、自主事業を「ホップ・ステップ・ジャンプ」と段階的に戦略的に進めていくとの提案であったが、今回ははっきりとは見えないところが残念である。実際に指定管理者として運営してきて、現実的な対応が見えてきたと受け止めているが、与えられた条件の中で戦略的に新たな提案をしてもらうように期待したい。また、集客については、これまで5年間の実績として、民間ならではの事業展開に対して一定の評価はしたい。コロナ禍で思うような事業ができずに、候補者も歯がゆい思いをしたのではと推察する。今後の誘客として、全般的にはICTを活用した集客、特に新規のYouTubeチャンネルの開設については、期待していきたい。最後に、令和5年度からの職員配置では、現在の配置職員を基本とすることを示してあるが、新しい風が吹くようなものがあるといいなと思った。

委員：私は、基本方針をしっかり踏まえている点と、5年間の実績を評価する。具体的には、キッチンカーの導入や、常設展への誘導を意識していたという点を評価する。不安に感じた点は、5年前に提案した内容では事業収益をしっかりと見込んでいたのが、今回は、収益にはこだわらないという提案であったこと、今回新たに指定管理の枠に入ったミュージアムショップについて、平日は無人で運営する点である。全体的には、このコロナ禍ということや、博物館の性質から力が出し切れなかった部分もあることを考えると、さらなる伸びしろを期待する。

委員：私は、維持管理の修繕等で、非常に工夫をして取り組んでいる点を評価する。

老朽化が進んだ施設だが、費用対効果や経費の削減に意識して取り組んでいる。また事業実績も、民間の事業者として、直営ではできないような取り組みを積み上げたことを評価する。一方で、コロナ禍というマイナス要因はあるにせよ、実際に集客等に効果が出てるかという点は、実績としては弱かったと思う。この次の5年間で、そういった点を広報あるいは新たな事業展開で力を発揮していただければと感じた。最後に感想として、博物館の指定管理の特徴としては直営部分と事業者部分の併存であり、その相乗効果も狙いとしてはあると思うが、それぞれのよさを活かして集客にもう少し力を入れていただきたい。

委員：私も事業実績と他の施設でも指定管理を受けている実績を評価した。全体的には良い評価をしたが、今回応募団体が現在の指定管理者のみということで、他社との提案の比較ができなかったことが残念である。今回提出された提案については、しっかり取り組んでいただきたい。

委員：私は、施設管理を外注ではなく自前で行っている点、地域との連携を広げる提案があった点を評価する。ただ、研修のメニューは豊富だが、研修頻度が少ないものがあつた。例えば非常時の初動対応訓練や人権研修等は、頻度を直して欲しいと感じた。また、コンプライアンス研修も一部の職員だけでなく、全職員で実施したほうが良いと思った。また、私はミュージアムショップ好きで色々なところを見に行くが、提案内容は他と比較すると、少しコンテンツに魅力がないと感じた。この内容での誘客は難しいと感じたので、他の施設を参考にしながら見直して欲しいと感じた。

委員：私は全体的に広報誘客は少し低めに、施設維持管理に関しては高めに評価した。この5年間の自主事業の特別展などは、なかなか工夫してされていると思って感心していたが、今回提案いただいた自主事業や誘客は、どちらかと言うと独自性に欠けるというか、机上で考えてるというか、あまり魅力的ではなかったため、相対的に低く評価した。一方で、施設の維持管理は、私がこれまで見ていなかった部分で、説得力のある提案であった。特に、外注せずに自分たちのグループの中で修理する点や、先を見越した利用者の目線に立った施設管理計画の提案は、老朽化する博物館のイメージ向上に向けた提案であると高く評価する。

委員長：他の委員と同様に、一番評価したのは施設管理の部分である。構成企業として施設管理を専門とする業者と組んでいるメリットが非常に多く出ていると感じた。下請けに出さず、直営でやっていくことは経費の削減になるし、さらにスピーディーに効果的な対応もできる点は、特に老朽化が進む建物の管理において非常に好印象である。今後、年間入館者数8万人を目指すという高い目標を掲げており、広報誘客に向けてICTを活用した提案など様々な提案をいただいているが、効果検証を行い、効果的なPRに努めていただきたい。博物館には、館庭や茶室など公園的な魅力もあるため、市民の方に十分有効活用していただく観点でも取り

組んでいただきたい。

委員の意見をまとめると、収益の問題やミュージアムショップのあり方等の課題も指摘をいただいているが、過去の実績や自主事業の内容、地域の連携、維持管理が前向きな評価であった。最低基準点も超えており、「いるまミュージアムパートナーズ」を「入間市博物館」の指定管理者候補として、決定してよろしいか。

全委員：異議なし。

委員長：「入間市博物館」の指定管理者候補を「いるまミュージアムパートナーズ」に決定する。なお、「いるまミュージアムパートナーズ」が辞退した場合は再度公募を行うことがあることを申し添える。以上で、「入間市博物館」の選定については終結とする。

次に、「入間市児童センター」の集計結果を事務局から報告いただきたい。

事務局：総合評価が最も高かったのは、「株式会社コマーム（以下、「コマーム」。）」で、258.20点である。次点以降は資料に記載のとおりである。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：「コマーム」が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明をお願いする。

事務局：「地域住民、学校、ボランティア団体との交流、連携する仕組み」、「自主事業の内容」、「環境に配慮した取組み」、「自由提案」について高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から高評価を得た審査項目について説明があった。これらをふまえて審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：1社が最低基準点を下回っているが、他の3社は、基本方針や基本コンセプトの理解がされており、他の自治体でも多くの実績があることから、3社のどこになっても運営は任せられるのではないかと、率直に感じた。その中でも、差がついたところとして、現在の指定管理者である「コマーム」は、これまでの5年間で大きな事故やトラブルもなく、安全安心な運営体制がしっかりと入間市に根づいていることが大きく、利用者からも良い評価をいただいている点である。また、特に児童センターの運営に携わるボランティアスタッフとも良好な信頼関係を築いており、学校や市内の他施設等との連携の提案は、学校や地域の方々との連携の拡大が期待できる。「コマーム」がこれまで培ってきた経験を活かして、現在課題になっている来館者増加に繋がる新たな事業として、プラネタリウムの有効活用や中高生向きの事業、地域や関係団体との連携事業を期待する。

委員：私も、上位3社は、評価に差がほとんどなかった。「A社」は、その会社の規模としっかりとした経営的な部分、「B社」は、外国人や障害者に寄り添った提案、「コマーム」は、この5年間の実績を評価した。その中「コマーム」が1位に選ばれた要因は、地元企業や既存団体等の地域に密着した事業運営の提案である。そして何よりも、この5年間、大きな事故やけが等なく運営してきた実績を評価

した。

委員：私も4社を比較して、上位3社については甲乙つけがたく、大きな差はなかった。「コマーム」は、これまでの実績を踏まえた今後の取り組みを評価した。「B社」は、これまでのノウハウを活かした提案をいただいた。「A社」は会社が大きなところで、安定感があり、いろいろなアイデアを持っていると感じた。その中で「コマーム」は、入間市内の他の公共施設においても業務委託を受託しており、それを踏まえた自主事業や地域との連携について、我々が理解しやすいような提案であった。また、実績が豊富であるため、安定した維持管理が期待できる。今後さらに、そういった強みを活かして取り組んでいただきたい。

委員：「コマーム」については過去5年間の実績と、特にプラネタリウムなどの有効活用の提案がしっかりされていたこと、地域企業との連携を評価した。「A社」は、企業の規模が大きいというところもあり、様々な提案があった。また、引き継ぎの段取りなどがしっかり細かく提案されてるところを評価した。「B社」は、利用者の平等利用の確保として、特に外国人や障害者に対する対応がいい提案であった。

委員：評価した点は、「A社」は研修プログラムが多くて、動画配信などにより非常に受けやすい工夫があったところを評価した。また、他の3社よりも、人員配置が厚かった点、XXXXXXXXXXというサポート体制がしっかりしている点を評価した。「コマーム」については、当然ながらこれまでの実績もあるが、資料見る限り、他社よりも給与水準が少し高かった点を評価している。また、自由提案についても、他社よりも、より具体的で種類も豊富だったことで、若干点を高くした。

委員：私が「コマーム」について高く評価した点は2つある。これまで出てきた意見と同じになるが、1点目はこれまでの実績であり、2点目は、地域等との連携についてである。非常に具体的な内容で提案されており、それが実績としても根付きつつあると感じている。そのため、非常に安心して任すことができる会社ではないかなと感じた。

委員長：私もまさに上位3社は甲乙つけがたいと思った。それぞれが他地域でも展開をしており、ノウハウも十分あるということで、正直どこに任せても一定水準以上だろうと感じた。その中で、私の中で決定的に違ったのは、入間市ならではの視点が、「コマーム」が一番多かった点である。入間市ならではの地域や企業との連携、色々な団体との連携は、これまでの5年間の実績に基づいた提案であり、非常に入間市のことを理解しながら事業をやっているし、今後もその気持ちでもって展開いただけることが期待できると感じた。また、SDGsにも触れた提案も評価した。

総じて、3社は甲乙つけがたいというところで、一致した意見であったが、や

はりこれまでの実績や地域との連携が一番密接に出ているところを評価していたと思う。点数の差は大きくはないが、1番点数が高い法人を候補とするという原則に立ち、「コマーム」を指定管理者候補ということに異論はないか。

全委員：異議なし

委員：「入間市児童センター」の指定管理者候補を「コマーム」に決定する。なお、「コマーム」が辞退した場合は最低基準点を満たしている2位から3位までの法人を繰上げて候補とすることでよいか。

全委員：異議なし

以上で、議事(1)「集計結果及び指定管理者候補の決定について」を終結する。

(2) 今後のスケジュールについて

委員長：今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：来年4月に指定期間が始まるまでのスケジュールを説明する。本日をもって、全ての指定管理者候補を選定いただいた。指定管理者候補選定委員会は終了となる。今後は、事務局であるデジタル行政推進課と所管課である、地域振興課、博物館及び青少年課において進める。

- 令和4年(10月下旬) 選定結果の通知(所管課へ)・・・デジタル行政推進課
- (10月下旬) 選定結果の通知(応募団体へ)・・・所管課
- (10月下旬) 庁議で協議事項として諮る・・・所管課
- (11月下旬) 議案提出(12月議会)「指定管理者の指定」「債務負担行為の設定」
・・・所管課
- (12月中旬) 告示「指定管理者の決定」・・・所管課
- 令和5年(1月) 指定管理者との協定書締結・・・所管課
- (3月) 広報するま及び市公式ホームページで指定管理者の公表
・・・デジタル行政推進課

以上の工程を経て、令和5年4月から指定管理者による運営が開始される。

委員長：事務局からの説明で不明な点はあるか。

全委員：特になし。

委員長：以上で、議事(2)「今後のスケジュールについて」を終結する。

7 その他 指定管理者候補を選定するにあたっては、複数社から提案いただけるよう工夫をお願いしたい。特に前回は複数社から提案があった博物館などは、今回1社のみであった理由等を検証し、改善できることはしていただきたいと、委員から意見があった。

以上